

つるせ西だより



～今月の特集～
「富士見市市民人材バンク」
ってなーに？

第166号(10月号)2021. 10. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 36

鶴瀬西地区で育つ葡萄



町会活動の防犯パトロールで住宅街に育つ葡萄棚を見つけました。葡萄が伝来したのは、奈良、平安時代と言われていますが、栽培が本格化したのは、明治以降だそうです。ワインやレーズンに加工されてもおいしい果物ですが、10月の季語にもなっています。また葡萄は、多くの実を付けることや、つるが伸びしっかりと巻き付くことから、古くより、多産、子孫繁栄の縁起物とされてきました。お尋ねしたところ、わずか4本の苗木からこれだけの棚になるとのことでした。収穫した葡萄は、ご家族と近い方たちにお分けしておいしく召し上がっているそうです。収穫後のもう一つの楽しみは、ハート型の葉っぱが色づき紅葉も美しい風景だそうです。

(撮影・文/堀口編集委員)

まちの話題

市で初めての芝生校庭

つるせ台小学校の校庭芝生化工事が、造成工事と植栽まで終わりました。10月までに生育させて工事完了となるのですが、果たして完璧に芝生化できるのか見守りたいと思います。その後の管理等はまだまだ不確定で大変なことが一杯ありそうですが、10月末には運動会がきれいな芝生の上でできるといいですね。今後の校庭に注目しましょう。



まちかどウォッチング

踏ん張る木

関沢小学校の北端に1本の樺の木が立っている。樹高は20メートルくらいあるうか。なぜか根元から3メートルあたりで、倒れんばかりに左へ30度ほど曲がっている。台風でも来たらと不安になる。グラウンドゴルフの仲間とプレー

をしながら、グツと堪えて踏ん張っているいいらしい姿を見て、その忍耐力和生命力に感動!
「まだまだ負けてはおれん」と奮起した次第です。(川上)

